

協議内容「学校・フリースクール等民間団体間の望ましい連携の形について」

1 学校・フリースクール等民間団体間の連携における現状と課題

(1) 現状

- ・入会時に校長や担任と面会を設定するほか、月に一回保護者と学校に出席状況や学習の記録を送付。必要に応じて個別に電話で連携をとったり、定期的な見学の対応を行ったりしている。

(2) 課題

<目標の共有>

- ・生徒の様子を学校と情報共有できるとよい。不登校の児童生徒で学校の先生が課題と感じているところを聞いてみたい。
- ・進路指導についてはフリースクール等だけで対応すると選択肢が狭まってしまうので、学校とうまく連携がとれるとよいと感じる。

<情報の共有>

- ・学校によって対応の差が感じられる。
- ・出席日数等のやりとりはしているが、その児童生徒をどのように支援していくか、育てていくかというところまで話が深まっていけばよい。
- ・フリースクール等での児童生徒の頑張りを学校に正確に伝えることが難しいと感じる。
- ・不登校も増え、ニーズや多様性が出てきているが、どんな機関でどのような支援をしているかを保護者や児童生徒が知る機会がなく、適切な支援につながるまでに時間等を要している家庭もある。
- ・学校では管理職が対応することが多く、担任の教員だとフリースクール等がどういうところなのか理解が十分得られていないのではないかと感じることもある。
- ・情報共有について個人情報の取り扱いの関係で学校とフリースクール等の関係機関が意見交換するのはなかなか難しい。

2 よりよい連携に向けた提案

<学校側への提案>

- ・学校や先生たちに迷惑をかけられないという思いからフリースクール側から学校へアプローチしづらいという背景もあり、困りごとが起きてから学校と支援策を考え、配慮していた。学校からSOSをもらえると関わりを作りやすく、ありがたい。
- ・色々な学び方があるため、学校からも発信があると選択肢が増える。
- ・学校間の差の解決策として、校長会等の大きな括りで調整していけるとよいのではないかと。
- ・長期に亘る不登校で担任も会ったことがなく、学校からフリースクール等に相談される場合もある。本人とフリースクール等と学校とが補完し合える関係が望ましく、学校からも頼ってもらえるとよい。
- ・学校とフリースクール等を併用している家庭もあるため、互いにできることを連携していきたい。

<教育委員会への提案>

- ・まだフリースクール等を特別視する雰囲気为学校によってはある。普通のこととして、選択肢の一つとして考えてもらえるよう、教育委員会から学校に伝えていただきたい。

<フリースクール等への提案>

- ・フリースクール等がどんなことをやっているか知ってもらうためにもフリースクール側が見学会を開催できるとよい。

<その他(双方への提案)>

- ・フリースクール等と学校が交流できる場や、児童生徒に対して支援策を話せる場があるとよい。